

し 知つてると便利！にほんごの オノマトペ

だい 第2回 病気

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうきょうかい  
公益社団法人 国際日本語普及協会

たけだ ゆみ

イラスト：リオ輔



①病気になつたら、病院に行きます。病院で医者は「どうしましたか」と、あなたに聞きます。あなたは「頭が痛いです」と答えます。それから、医者は「どう痛いですか」「ガンガン痛いですか」「ズキズキ痛いですか」と聞きます。  
「ガンガン」は頭が痛いときによく使います。頭をたたかれているような感じです。「ズキズキ」も頭が痛いときに使いますが、歯が痛いときにも使います。「ズキズキ」は心臓が動いているリズムに合わせて、1・2・1・2…ズキ・ズキ・ズキ・ズキ…とずっと痛いときに使います。  
お腹が痛いときには、「キリキリ痛いです」という



ゾクゾク



ことができます。これは、お腹がナイフで刺さされているようなときです。ベルトで締められるように痛いときは、「キューッ」という感じです。とても痛いです」と言います。  
②手や足にけがをしたときにも「痛いです」だけではなくて、もっと詳しく説明しましょう。転んで手や足から血が出たときや火傷をしたときに使うオノマトペがあります。血が出ているところや火傷をしたところが焼けているみたいに熱くて痛いときは、「ヒリヒリ」を使います。けがをしたところが赤くなつて痛いときにも使います。友達がけがをして、赤くなついたら、「ヒリヒリする？」と聞いてみてもい

いですね。  
③最後に、気分が悪いときのオノマトペを紹介します。お酒を飲み過ぎて、気分が悪いときには「ムカムカします」と言います。食べた物やお腹の中にあるものが口から出そうなときにも使います。お腹から反対に口に上がってくるときの酸っぱい味がするときにも使います。風邪を引いて、熱があるときは体が寒いです。そのときは、「寒いです」の代わりに「ゾクゾクします」と言います。  
もし病気になつたら、病院や薬屋に行って、「頭がガンガン痛いです」「お腹がキリキリ痛いです」と言ってみましょう。いい薬を出してくれますよ。